

照葉樹林に暮す

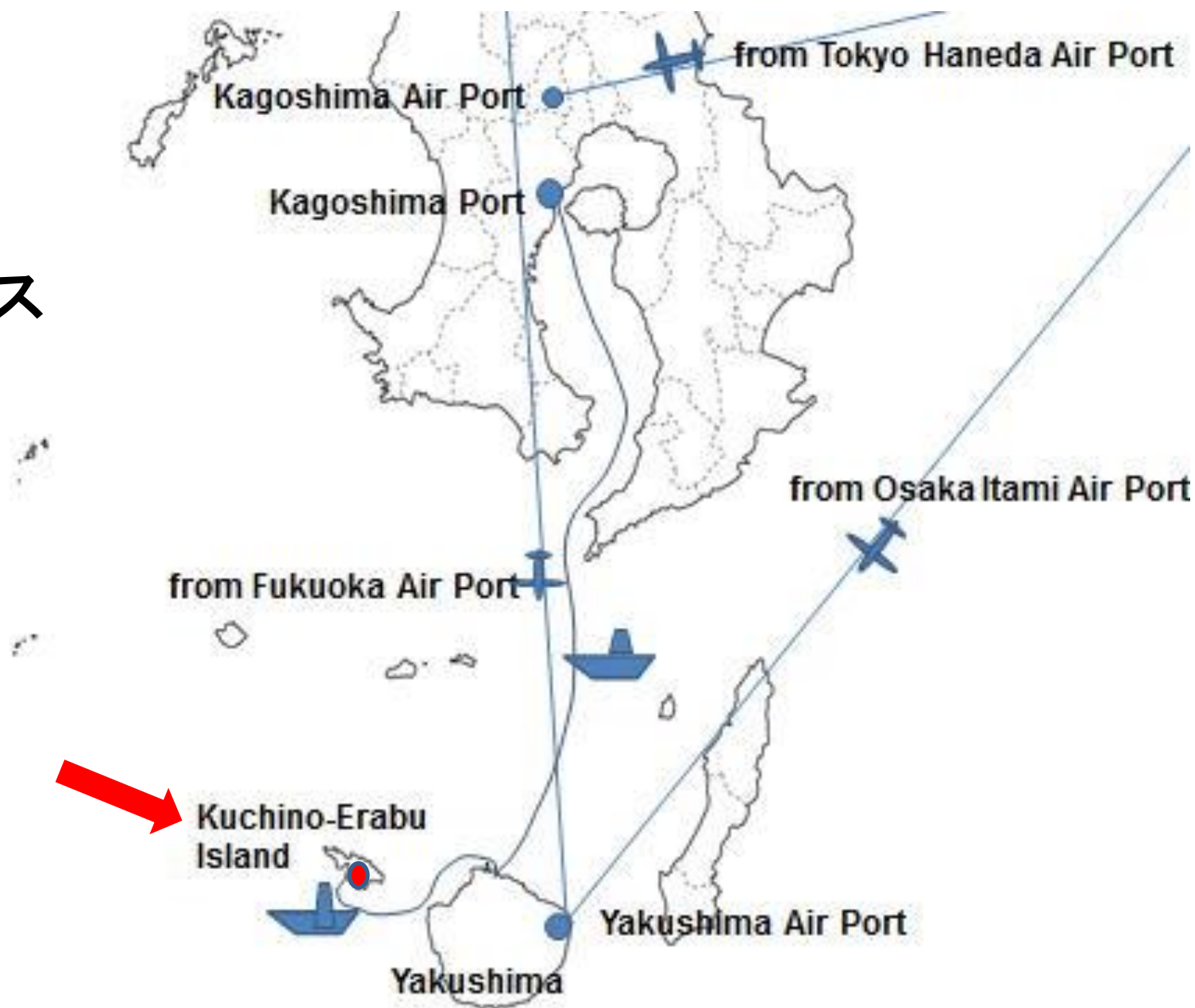
エコパークを目指す

口永良部島

製作・文責 えらぶ年寄り組

口永良部島は、どこにある？

アクセス

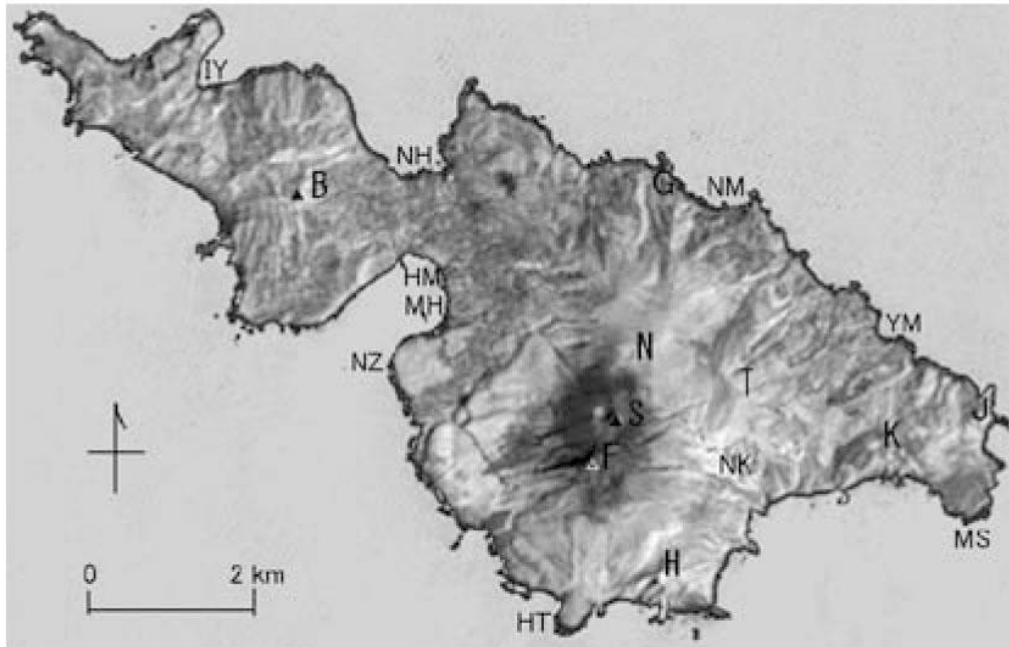




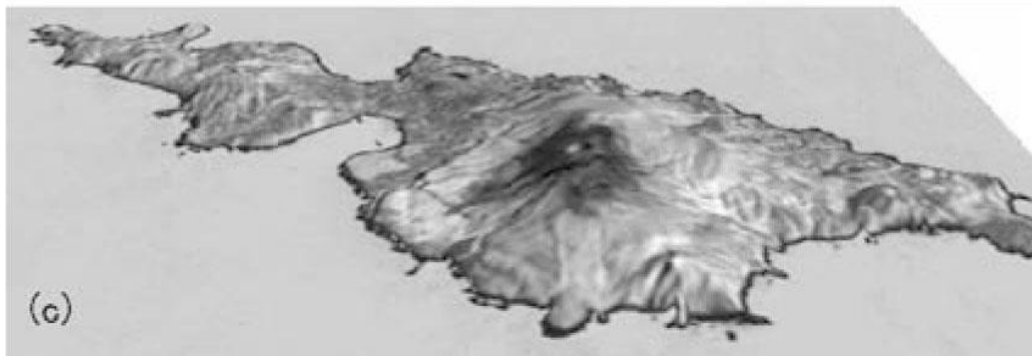
口永良部島は屋久島の西12km。永田浜から見た島です。



フェリー太陽から口永良部島
トビウオとイルカに出会えます。



近赤外衛星画像による
口永良部島の姿です。



提供：
木下紀正先生(鹿大)



海岸線は、50km。大部分が険しい崖に囲まれています。





波に洗われる海岸線は、厳しい暮らしの象徴。

フェリー港がある入り江は、天然の良港。

西の海は、東シナ海

島は、古くから南方航路の避難港でした。





口永良部島・本村港と
フェリー太陽 500トン

2015.05.23



春には転勤される先生方を見送る子供たちと島民の姿が見られる。島独特の悲しい別れ。



左は金岳中学校の玄関

正面は金岳小学校



金岳中学校

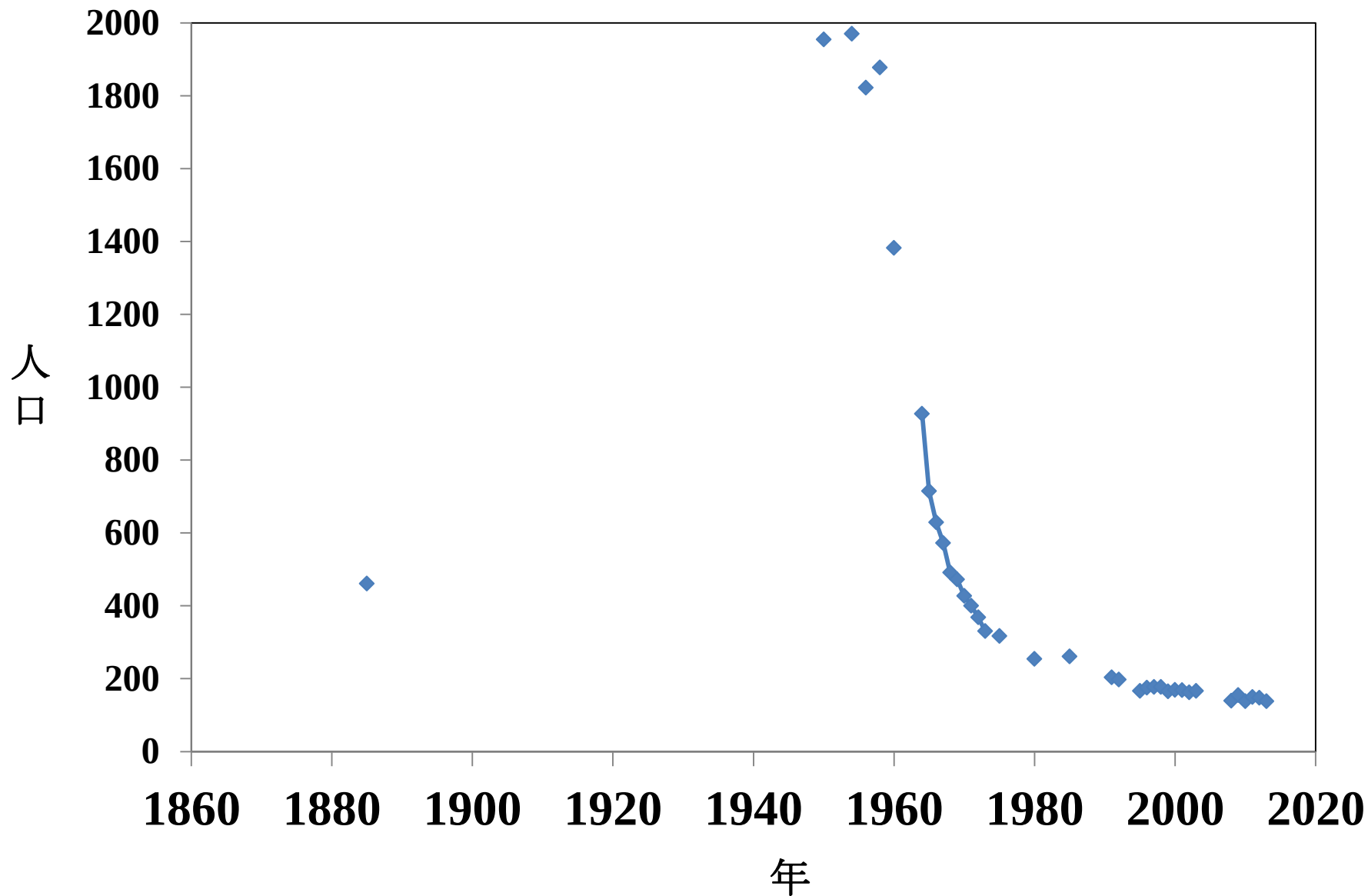
見えないが右に金岳小学校

つつましやかな島の暮らし

人口は140人

高度成長期に減った島の人口

微減が続きます。





典型的な口永良部島の家 石垣が美しい。



家や畑を守る石垣は大切にされています。



湧き水を利用した水道は現役です。

お医者さん、ATM、お巡りさん……不在

役場出張所	1名常駐	公民館	2集落に、各1か所
診療所	医師ゼロ 看護師1名	学校	小・中学校の合併校 複式授業
交番	なし	消防署	なし、消防団
郵便局	1つ	水道・電気	簡易水道・発電所あり
銀行	ゆうちょ銀行 ATMなし	企業・民宿	荷役・運送1 民宿8
商店	JAコープ・酒店1 ガソリンSS	喫茶店 レストラン	なし

2014年



酒屋さんが1軒、食料品はJA店が1軒

活火山と照葉樹林とともに暮らす



金岳小・中学校と本村港の入り江、
活火山・新岳からは2.5km。

人口の9割が、入り江を囲むように暮らします。

白煙を吐く火山・新岳576mの山麓には、照葉樹林が広がっています。



フェリー港から東を見る。





新岳への尾根道
には、戦後の伐
採をのがれたス
ダシイの大木が
あちこちに。

A photograph of a forest scene. In the center, a person's hand, wearing a dark sleeve, reaches out towards a cluster of small, yellow, bell-shaped flowers hanging from a branch. The background is filled with green foliage and tree trunks, creating a dense forest atmosphere. The lighting is natural, with some sunlight filtering through the leaves.

麓の森には
タカツラン
の花が咲き
ます。

2013/06/18



6月～7月にかけて、頂上付近の南斜面はマルバサツキでピンクに染まります。

豊かな自然に囲まれて



西之湯温泉

満潮になると、湯船にお湯がいっぱいになる。

島民が管理して大切に使われる温泉。

後ろの入り江は美浦海岸

西之湯温泉から美浦海岸。
透明度が高い海です。



2015.05.24



美浦海岸沖には、常に4～5頭のアオウミガメが見られます。
棲みついているのか否か、個体認識してこれを確かめるのが、「えらぶ年寄り組」の
今年の課題です。



美浦海岸沖に棲みついているアオウミガメ。片手がなく、
子供たちはジェーンと呼んでいます。



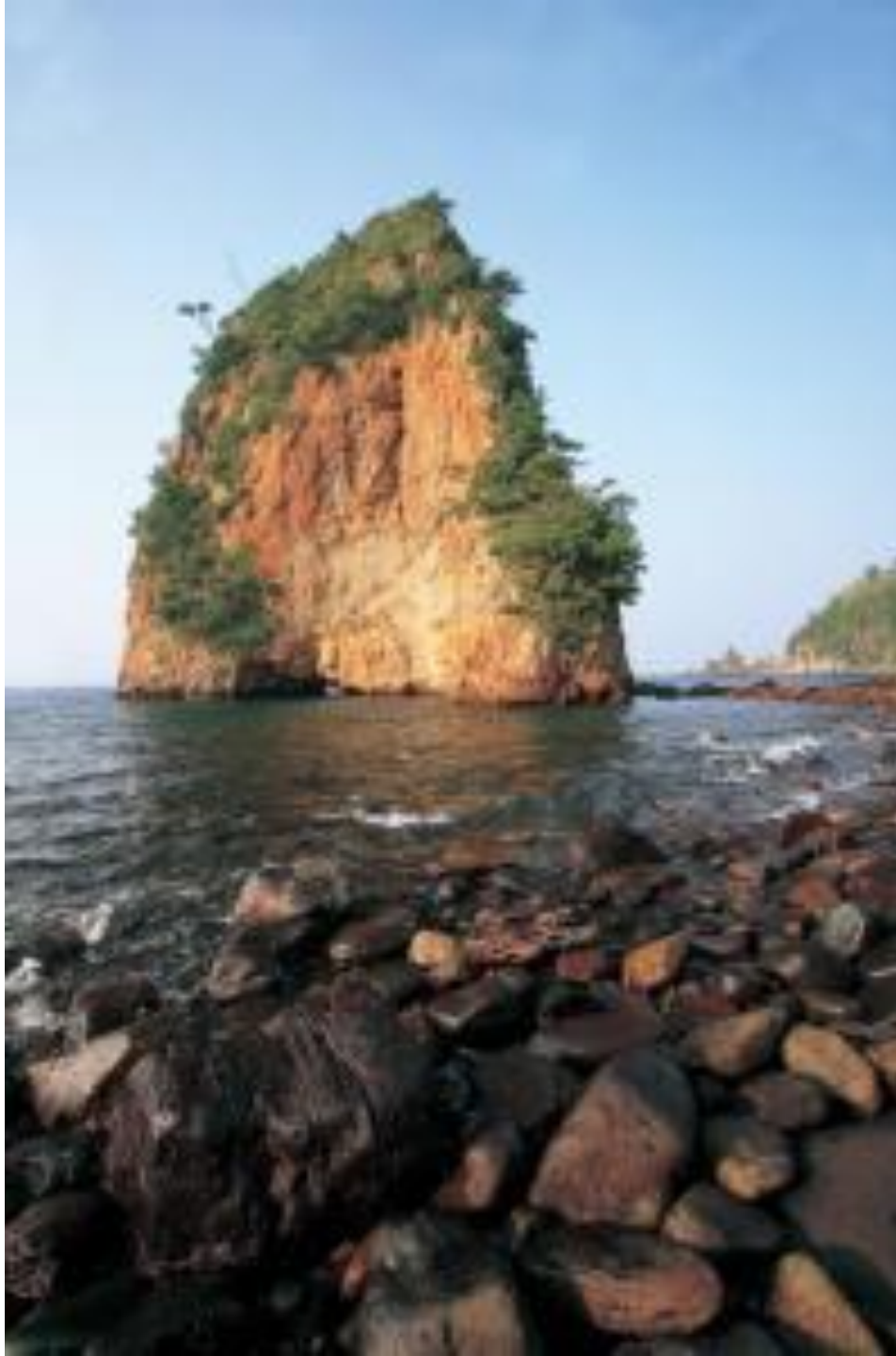
寝待温泉

2015.05.22
後ろの岬は仙水が鼻



岬は仙水が鼻
ワシの頭の形をした岩が見えます。
岬の先の海中では温泉が湧き出す。

2015.05.22



寝待温泉の
立神

右後方に寝待温泉

写真は、鹿児島県HPから



北には硫黄島(正面)、左に振れば黒島、右に竹島。好天なら開聞岳も望めます。

子牛の生産が盛んでしたが、後継者が高齢化で、せっかくの牧場が、次々と閉鎖されています。

南の水平線には折り重なるようにトカラの島々が。



牛が減って、牧場ではシカが我がもの顔、深刻な事態です。





天然記念物エラブオオコウモリが生息しています。



クマのぬいぐるみのようにかわいい顔です。 写真提供:コウモリ研究家の大沢ご夫妻

豊穰の海に恵まれて



時には、こんな大物も。

2013年に
捕獲された
71kgのアラ
です。



エラブの特産の一つは、イセエビ





素潜りやシュノーケリングで観察可能。





エラブウミヘビは、こんなに美しい。

伝統芸能を守って暮らす







女性は「日の本踊り」を奉納

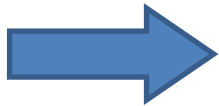


危機感を持つ島民

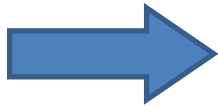
島民の危機感

若者
若いカップル
幼児

が少なくなってきた。



このままでは、
学校に生徒がいなくなる。



学校がなくなると若者が来ない。
危機感

**老いも若きも
島の活性化に力を注ぐ**

2000年代の後半
危機意識を持った島民は、さまざまな活動を
始めた。

口永良部島活性事業組合 2007年

2007年
焼酎用のサツマイモ栽培

2012年
ガジュツ栽培



根 茎



蔦 朮 (がじゅつ)



事業組合が焼酎用のカライモを生産。耕地はあるのに借地が困難。

未来創造協議会

シェアハウス・プロジェクトは、
定住促進
雇用調査 を目的にする。



未来創造協議会のねらいは

まずは、短期の来島者を増やすこと



長期には、島に住む若い人の増加

カライモ

ガジュツ

牧場

漁師

観光（エコツアー）

年寄り組の具体的な活動

(1) 自然保護の活動

ウミガメ

エラブオオコウモリ

タカツルラン

植生(シカ対策)

自然の学習会・講演会

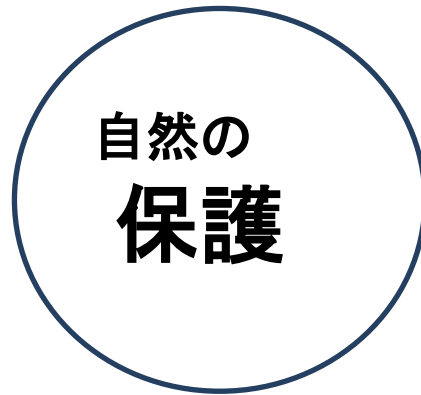
(2) 情報の発信

ホームページの管理・運営

文化・学術活動

- ◆島では
伝統芸能保存会
史跡・自然保護活動
- ◆大学などが、島をフィールドに
東京環境工科専門学校
鹿児島大学
鹿児島国際大学
広島大学
北海道大学
京都大学
慶應義塾大学

口永良部島は、今のままでもエコパーク



えらぶ年寄り組

+



青年たちや事業組合



大学などの学術活動



雇用確保と若人の来島増加
、定住者の増加

Goal は

子々孫々が住み続ける島



私たち島民は、
エコパークを目指します。

2010/11/27